

薬局 マネジメント 3.0 セミナー

2018年診療報酬改定を踏まえ、
薬局経営の次の一手を考える!

講師 **狭間 研至**

PHB Design株式会社 代表取締役社長
ファルメディコ株式会社 代表取締役社長

4回シリーズ

第1回「薬局・薬剤師をとりまく**現状を知る**」

2018年11/10(土) 13:00~18:00

第2回「これからの**経営戦略**を練り直す」

2018年12/8(土) 13:00~18:00

第3回「新しい薬局を作るための**アクション**を起こす」

2019年1/12(土) 13:00~18:00

第4回「自分と薬局に**イノベーション**をもたらす」

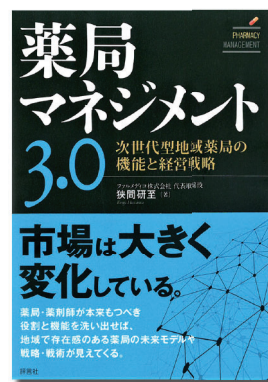
2019年2/16(土) 13:00~18:00

対象：小規模チェーン薬局(原則、10店舗以下)の経営者・幹部の方

会場：大阪市北区天神橋1-9-5 山西屋・西孫ビル2F
ファルメディコ株式会社 本社研修室

定員：30名 参加費：全4回 16万円(税別)

参考図書 **薬局マネジメント3.0**(評言社)



お申込みはHPへ

PHBDesign 検索



phbdesign.jp/pm3.0

自ら切り開く次世代の薬局経営

大きな転換点

2015年に厚生労働省が発表した「患者のための薬局ビジョン」によって、全国58,000の薬局を医薬分業が本来目指す、患者本位の薬局であるかかりつけ薬局として再編することが策定されています。このことは、我が国の薬局が、特定の医療機関から処方箋を受け付け、お薬をお渡しする役割から、多職種とも連携しつつかかりつけ薬局として役割を發揮し、地域包括ケアシステムを支える医療提供施設に転換することを示しています。

規制改革会議や経済財政諮問会議での検討を受け、2018年の診療報酬改定では、従来の調剤だけを行う薬局の評価が下がり、在宅医療を行う薬局が評価されるようになり、いわゆる「調剤薬局」の経営に大きな影響を及ぼしています。超高齢社会が到来するなか、薬局が経営基盤を安定化させ、地域医療に貢献していくためには在宅医療に取り組むことは避けられず、薬局は従来の門前薬局中心のビジネスモデルから、在宅医療中心の新たなビジネスモデルへ転換していく必要があります。

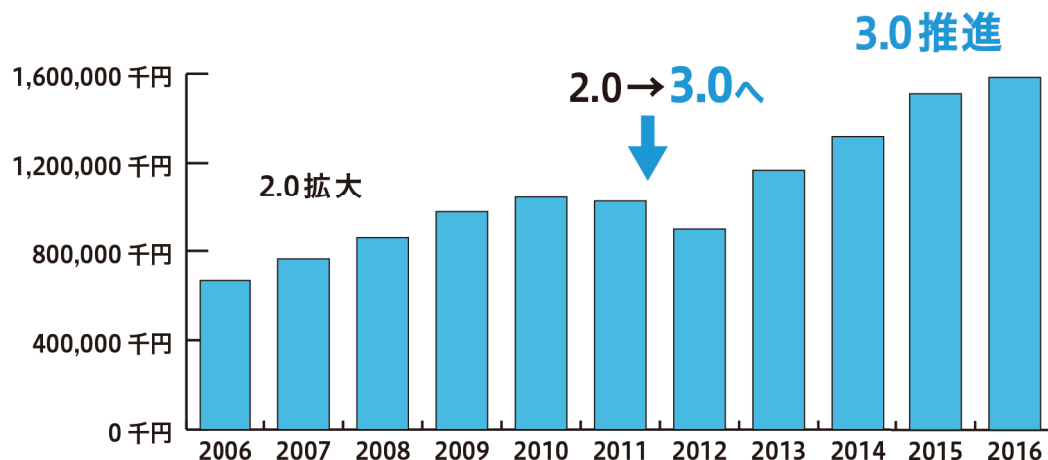
『対物業務』から『対人業務』に

弊社グループ会社ファルメディコが運営する調剤薬局ハザマ薬局では、地域医療のあり方を変えたい思いから、早い段階から門前薬局ではなく、対人業務による在宅医療に特化した薬局を目指してきました。2011年から8店舗あった中の3店舗の門前薬局を手放し、在宅療養支援に注力した薬局運営を行うようになりました。この結果、2013年頃から急速な在宅関連の業務の拡大により、社内の体制が追いつかず採算が悪化する時期もありましたが、ICTの活用、居宅療養管理指導の徹底、非薬剤師の活躍など、在宅療養支援薬局に最適化した効率化を試行錯誤しながら進め、その後4年間で社内体制は改善し、売上は1.5倍の規模となりました。

これからの薬局運営を悩まれている方へ

今後の政府の方針を勘案すると、門前薬局を中心としたビジネスモデルで運営をしている小規模薬局チェーンが今後生き残っていくためには新たな戦略が必要不可欠であるうえ、彼らが地域医療の担い手として重要な役割を果たす必要性が高いことから、これまでのハザマ薬局で培った在宅療養支援に注力した薬局の経営ノウハウを提供するための、薬局経営のコンサルティングを担う弊社が講座を開催することとしました。これからの薬局運営を悩まれている方はぜひご参加ください。

薬局2.0から
薬局3.0へ
売上の推移



お気軽にお問い合わせください。

問
合
せ

TEL 06-6357-7760

MAIL info@phbdesign.jp

PHBDesign株式会社
Pharmedico Healthcare Business Design Co., Ltd.

PHBDesign 検索

phbdesign.jp/pm3.0

